



深川社中

乘 尊

特別  
 入5  
 6673  
 82  
 早稲田大学図書館



安永六丁酉稔 乙卯門



祝君

かきつねあはれまはれ  
まろしーゆき二様の甚重とれい  
らの意味もろくさー文より  
例ふまをしく成るまを  
の同雅れま情あらしま  
まろし学成祝ひ具するの

味いの自然成

桂香仙

々新此新考小

歳旦

年杪やあし伸をりて老の腰 徐風

史職きりー身の二名れ官成  
振るきー厚恩と永くま  
亦ー三海し半紙書よ

白雲の二字がく次字をく先 雲耕

伸しくとんるいつき初日小 古明

又まのあし路ふありてゆれま 案所

つる家あし伸くあますくまのま 素扇

むく記ふまの何たりと福壽ま 帯笥

万葉書よまふ暖く笑ま雪家 了今

門堂やまれゆりといまといひ 仙步

向ふまといつま角まー清餅 圓折

何れも有るおれも〜や分軽の老 棠文  
 管橋やか〜に海子のあはしき 素文  
 屏風の色はあふれおや下戸連 涼月  
 門くのも川娘〜やねの青 志元  
 百景やぬふ子ともものや〜流 成喬  
 さへ川多士の向い合り〜初日新 雪才  
 少の教も〜ふ川〜とぬきか 下岡  
 初東風や陸〜ふ〜とさへ川 雪登  
 ぬ〜とやんふふ〜とせ〜ぬははと 栄守

全

在東武

人〜ぬ初あけのや〜は〜りも 桃里  
ちかき戸草

春真

水〜ら〜と〜と〜と〜と梅れ桃月 栞草菴連 文園  
 雪の一日〜くやる〜と〜と庭 コレ 道矣  
 庭〜川〜と〜と〜と〜と文 女 景園  
 春あ〜と〜と〜と〜とね柳うね 呂分  
 さ〜や〜と〜と〜と〜とのはや 瓦末  
 春〜と〜と〜と〜と〜と〜と川路  
 何神さ〜と〜と〜と〜と〜と〜と月 弄花  
 梅ら香や〜と〜と〜と〜と〜と〜と 末の坊

春真

分や春家の時のま〜と〜と〜と  
 一〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
 洗〜と〜と〜と〜と〜と〜と

余はたかしやんと解江のたし  
こしり一倒のせふらふり一巻を  
巻のこ

清如水亭  
水交

三年の未だれお

又 三河宿坊

武陵の  
清加雅公正凡門の信をくち  
くさ世の七中董尔師皆此用  
はくぬりそ他一借一三社中  
信仰の同子れ皆一加らるる  
けいこ本祝の信一はるま  
き家として

雪き戸  
五周

雪き戸  
水交

又 文

水交

水交雅君の信と一はるま  
はるまの信と一はるま

以哉坊

水交

己周

栄字

徐凡

罪河

高堅

圓折

西之ハルホの横日北事侍々 素高  
こは公の馬ノ人ノ不ノ主 榮文  
お福誠ハキキク呈此 武吉侍 東為  
時代ノミヨク風の如ク 西耕  
吾短ノ事行一折

文通

名カクシ

皇徳小方

帰善堂

~~~~~

多伝宗

世章ニ書カシの便ハルホノ侍高母  
と殿ノ事ニハシ海ノ事ニハシ  
侍高

京橋治力

